

平成30年5月27日 日本行政学会

生駒市が

働き方改革に

取り組む理由

生駒市長 小紫 雅史



X IKOMA CITY

喫煙後すぐの エレベーター利用は ご遠慮ください



喫煙後呼気による受動喫煙を防ぐため、 喫煙後45分間はエレベーターの利用をご遠慮ください。





今日お話したいこと

1. 生駒市について

2. 自治体3.0のまちづくり

- 3. 生駒市が働き方改革に取り組む理由
- 4. 生駒市の働き方改革の取組み



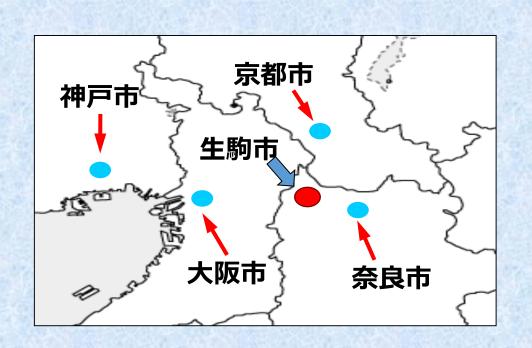


1. 生駒市について





近畿の中心、けいはんな地域









生駒の観光資源



奈良先端科学技術大学院大学



生駒山上から眺める大阪平野の夜景



高山茶筌



生駒ケーブル



宝山寺(生駒聖天)





2. 自治体3.0のまちづくり



KOMA CITY

自治体3.0のまちづくり

	自治体2.0	自治体3.0
市民との関係	市民=お客様	・市民と共に汗をかく ・ <mark>協創</mark>
基本目的	差別化	価値創造
コンセプト	・ニーズに応えるのが行政・民間企業に負けない!	・まちを楽しむ! ・みんなの課題はみんなで解決!
ターゲット	・市外の人を呼び込む!	・市内在住者の満足度↑ ・(結果として)人口増加

⇒ 汗をかいてもらったほうが市民満足度・定住希望率 ↑



ワーク・ライフ・コミュニティ の融合



ベッド

タウン

ワーク ライフ バランス 仕事 Work

家庭 Life

生駒市の定住希望率83.9%

地域社会 Community





3. 生駒市が働き方改革に取り組む理由





(1) 福利厚生の充実から経営戦略へ

働きやすい環境整備 (ワークライフバランスの確保)



職員の満足度向上





経営・採用戦略として活かす





(2) 自己研鑽=専門性を磨く

年功序列、終身雇用の崩壊 リボルビングドア、副業は当たり前に





どこの職場でも食べていける高い専門性



自分の時間を使って常に自己研鑽





(3) 地域に飛び出す経験





これからの公務員に必要不可欠な能力



リーダーシップ

協創力

の育成

→ 自治体3.0の実現



4. 生駒市の働き方改革の取組





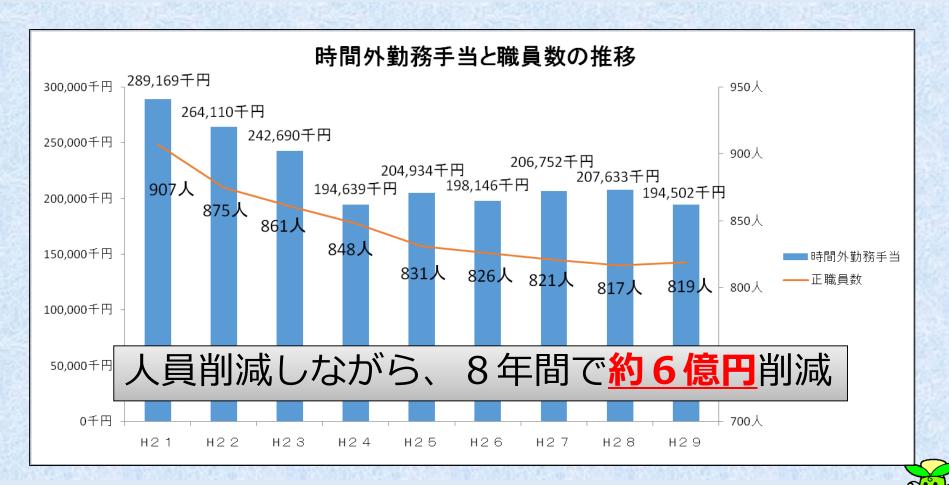
(1)残業時間の削減

- ・各部ごとに市長が残業目標を設定
- ・削減目標を人事評価項目に義務付け
- → 残業削減した分でWLB、街に飛び出す、専門性磨く等



※ 生駒市 問合せ:奈良県 生駒市役所 人事課 № 0743-74-1111 (内線243)

IKOMA CITY





(2) 県内初のイクボス宣言



男性も女性も育児・介護をするための取組

- ・イクボス項目を人事評価に導入
- ・仕事と子育て・介護両立支援ハンドブック
- ・管理職による面接を義務付け



- ・イクボス充実度アンケート調査 全国4位(関西1位)
- ・父親の配偶者出産休暇
- ・妻の産休中育児休暇

2年連続取得率100%



(3)副業(地域貢献活動)の促進

地域貢献活動で報酬を得ることも可能に

- ■地域貢献につながる活動であり、報酬を伴うもの(市内・市外は問わない)
- ■採用2年目からの職員が対象
- ■許可基準
- ・勤務時間外、週休日における活動であること
- ・生駒市との間に特別な利害関係がなく、職務の公正の 確保を損わないこと。
- ・報酬は、社会的に許容できる範囲





5. さいごに





市民とともに汗をかく職員を増やし、自治体3.0を実現することが最終的な目標



採用 育成 環境改善 地域に飛び出す

働き方改革 = 生き方改革





御静聴ありがとうございました!

